

平成27年度硫黄島関連予算について

平成27年3月10日
防 衛 省

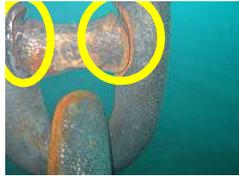
1. 自衛隊施設整備関連

硫黄島 27年度予算案

①係留浮標の整備

予算案：約1億円

概要：浮標の交換

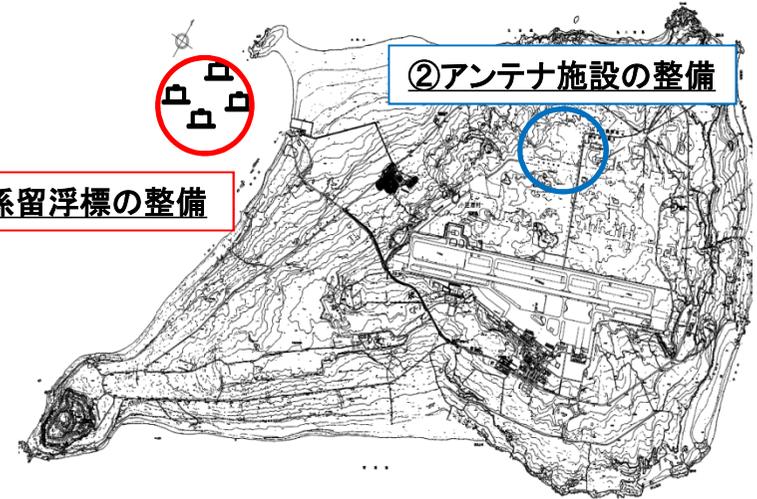


台風等の影響により、チェーン等の部品が摩耗



①係留浮標の整備

②アンテナ施設の整備



②アンテナ施設の整備

予算案：約57億円

概要：施設整備



(イメージ)



※ 予算案の金額は契約ベース

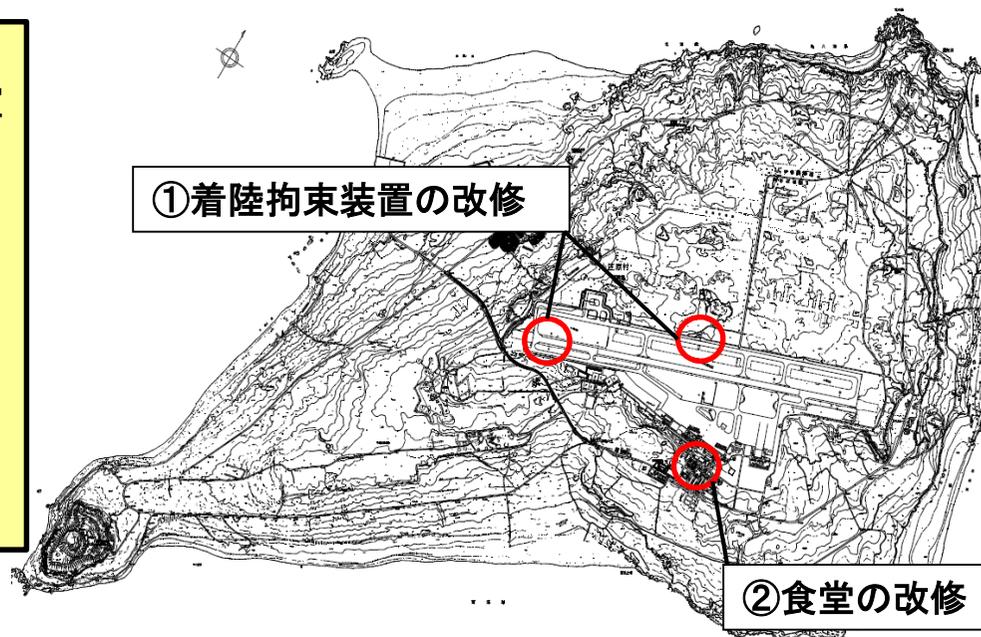
2. 提供施設整備関連

【概要】

1 平成元年1月、日米両政府が、硫黄島において空母艦載機着陸訓練を実施することに合意したところ。

2 これを受け、平成元年度から4年度にかけて、同訓練に必要な施設として、隊舎、給油施設及び食堂等を整備。

3 現在、これらの施設に対して、経年劣化や地熱・塩害等による劣化に伴う改修工事を実施中。



平成27年度予算案

①着陸拘束装置の改修:約1.6億円



着陸拘束装置(ワイヤー)



着陸拘束装置(巻き上げ機)

②食堂の改修:約1.3億円



食堂(厨房)

※着陸拘束装置:滑走路上に設置し、短い滑走距離で艦載機を停止させるための装置。

※金額は歳出ベース。

3. 訓練移転関連

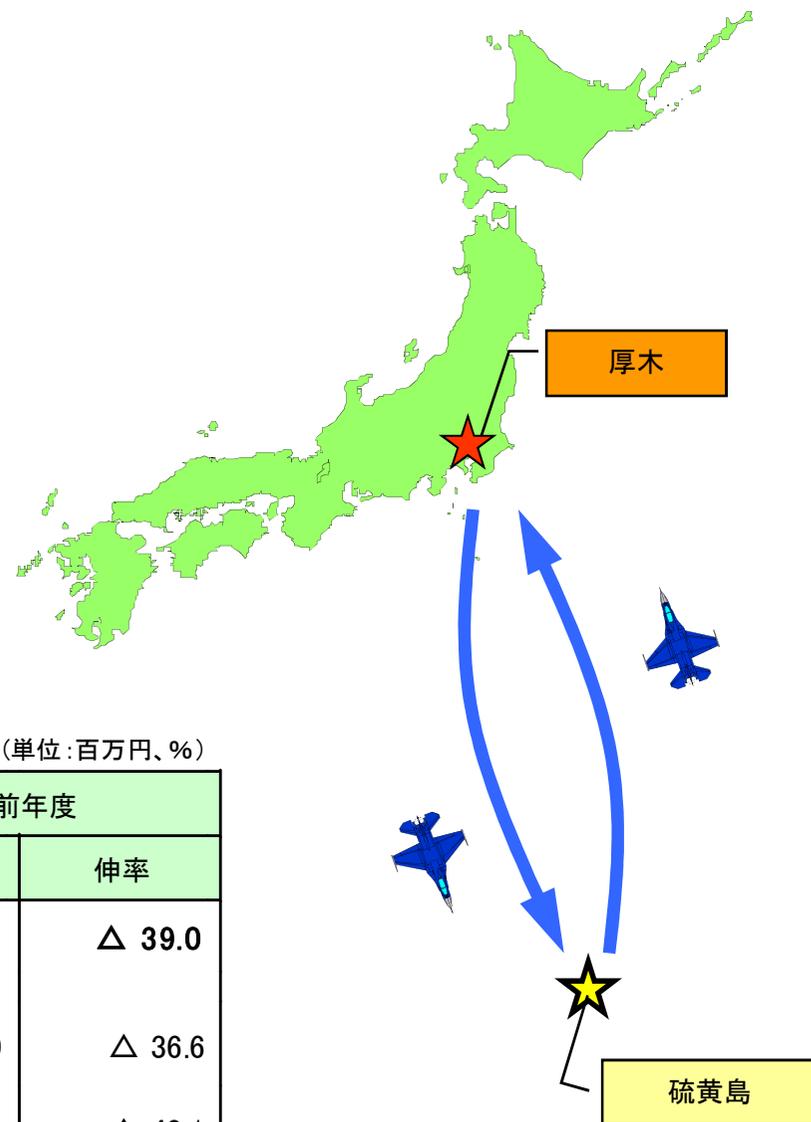
空母艦載機着陸訓練の移転について

【訓練移転費の概要】

- 空母艦載機着陸訓練については、平成8年度から特別協定(※)第3条に基づき、米海軍が厚木飛行場等で実施する空母艦載機着陸訓練の硫黄島への移転に伴って、追加的に必要となる経費を負担
- 平成27年度予算案については、約294百万円を計上

※特別協定

「日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約第六条に基づく施設及び区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定第二十四条についての新たな特別の措置に関する日本国とアメリカ合衆国との間の協定」



【訓練移転費の予算案】

(単位:百万円、%)

項目	平成26年度 予算額	平成27年度 予算案	対前年度	
			増△減額	伸率
訓練移転費	481	294	△ 188	△ 39.0
(内訳)				
艦載機の飛行経費	190	121	△ 69	△ 36.6
人員・物資の輸送費	178	106	△ 71	△ 40.1
給食・宿舍管理費等	113	67	△ 47	△ 41.2

注: 計数は、四捨五入によっているので符合しないことがある。